

後藤京子 Loveフォトプロジェクト in 横浜ラポール

2019年7月2日～7日、障害のあるお子さんご家族の「幸せな瞬間」を撮り続けるフォトグラファー、後藤京子さん(都筑区在住)の写真展を開催しました。昨年8月にラポールで初開催した「Loveフォトプロジェクト展」から約1年、今回は80点を超える家族の笑顔が並びました。後藤さんご自身も障害のある息子さんの子育て中で、ラポールのハロウィンイベント(2017)の撮影会に参加、みんなの嬉しそうな姿に、自分も撮影したいと思ったのが始まりでした。その後、様々な出会いを大切にしながら家族の写真を撮り続けています。写真展には多くの方が来場し、作品1点1点が見る人の心に静かに語りかけてきました。



ママ達の笑顔に会いたくて。

子どもに障害があってもなくても、ママの悩みもそれぞれ違うけど、子どもというママの笑顔は一緒であたたかい。その思いのもとにファインダーをのぞきます。キラキラしてみえます。子どもと家族の幸せオーラがあふれています。(後藤)





大丈夫。笑えてるよ。

子供の心配と不安で、最近笑っていないなあと思っていた時期がありました。そんな時、子供が笑うと温かい笑顔の表情を見せるママ達を見て、自分自身笑っているのに笑っていないと思い込み、大切な時間を生きていることを忘れていました。障がいの有無に関係なく、日々時間に追われて大切なことをついつい忘れていく人もいます。そんな方達に何かのきっかけになったら良いなあと思っています。(後藤)



Love フォトプロジェクト アンケートより

- 一人ひとりの笑顔が印象的でした。みんなが安心して楽しめる社会になってほしいと強く思いました。写真の力はとても大きいと思いました。(20代)
- 写真だけではなく、お母様やお父様のメッセージも一緒に載せているところが印象に残りました。(20代・30代)
- 大きな病気を宣告されました。でもこの写真展を眺めていたら、みんなこんなに小さいのに、良いとも悪いとも言わず生きているんだな、と。これからも後藤さん、がんばれ！(50代)

後藤さんの次の目標は、写真集の出版と撮影会だそうです。